

## 一 般 質 問 通 告 事 項

(令和7年第2回白岡市議会定例会)

### 第1 通告者

14番 遠 藤 誠 議員

- 1 食育するなら「食べ物しか体を作れない。」ことを教えるべきではないか。
  - (1) 現代の食の課題は何なのか。食べ物と体の関係をしっかり教えるべきではないか。
  - (2) 食材や加工品に関する問題はないのか。
- 2 課題は防災知識なのか、自治意識なのか
  - (1) 「発災直後は誰も助けてくれませんよ。」「助けたのは近隣住民ですよ。」と言いつけるべきではないか。
  - (2) 過去の災害時の自主防災組織の活動をもっと検討すべきではないか。
  - (3) 防災意識の高揚の種火は自治の精神以外にはないのではないか。

### 第2 通告者

8番 石 渡 征 浩 議員

- 1 公共施設の再編について
  - (1) 現時点で想定する公共施設再編計画について、学校適正規模・適正配置計画との関連も含め、スケジュール感を改めて伺う。
  - (2) 他の地方自治体と比較した場合の白岡市の公共施設の充実度は。
  - (3) 床面積を現状から削減する20%の理由とは。
  - (4) 公共施設の方角性は、現時点でどのような想定をしているか。主な施設の方角性について伺う。
  - (5) 再編にあたり、単に床面積の削減・コストの削減に留まらない考慮すべき観点は何か。
  - (6) コストの削減については、改修・修繕による長寿命化と建て替えを比較検討する必要があると考えるが、いかがか。
  - (7) 質の高い行政サービスを提供するという観点からも、PPP（官民連携）の可能性をまず始めに検討すべきと考えるが、いかがか。

(8) 学校のプールの現状の活用状況と年間の維持管理コストについて伺う。

(9) 学校のプール授業については、B & G 海洋センターに委託してはどうか。

## 2 地域公共交通に対する考え方について

(1) 現行ののりあい交通に対する市民の満足度は。また、それをどう捉えているか。

(2) 現行の「のりあい交通」一本で進める理由は何か。現行の「のりあい交通」の改善で、どこまで市民ニーズを高められるかの想定を持っているか。

(3) 第6次総合振興計画の重点取組項目の1つである「交通ネットワークの充実」が目指す市民へのサービス水準のレベルとは。何を持って充実と見るか。また、いつまでに判断し、どう実現するのか。

(4) 地域公共交通のターゲットの範囲をどう想定しているのか。

(5) 社会インフラとは何か。地域公共交通を社会インフラと位置づけているか。

(6) 地域公共交通は、費用対効果の概念で判断することに適しているか。費用対効果を第一義にすべきではないと考えるが、いかがか。

(7) 市民ニーズを満たす過程での民業圧迫との関係をどう捉えるか。

## 第3 通告者

2 番 尾 嶋 一 雄 議員

### 1 学校給食費の公会計化について

(1) 給食関係費用の現状を伺う。

ア 今年度の給食費の保護者負担月額と年間の総額は。

イ 今年度、市が負担している給食提供に関する費用の内容と年間の総額は。

ウ 給食費（収入）と食材費（支出）の各学校の状況を市は把握しているか。

(2) 給食費の徴収の流れと未納者に対する対応はどのように行っているか伺う。

- (3) 埼玉県内の給食費の公会計化の現状を伺う。
  - (4) 市は給食費公会計化により見込まれる効果と課題についてどのように捉えているか伺う。
  - (5) 給食費の公会計化を実施することは出来ないか。
- 2 中央公民館の施設管理と運用状況について
- (1) 中央公民館の利用状況の推移を伺う。
  - (2) 公民館施設の役割は。
  - (3) 避難所としての利用状況は。
  - (4) 施設管理の状況について。
    - ア 耐震工事は行っているか。
    - イ 雨漏れ部分の補修をどうする予定か。
    - ウ 危険な鉄骨階段の補修は考えているか。
  - (5) 今後、市は中央公民館施設をどのように運営していく考えか伺う。

#### 第4通告者

6番 和賀正義 議員

##### 1 白岡市商店会連合会のLED街路灯について

白岡市商店会連合会は、商店会に加入している商店の敷地にLED街路灯を設置しているが、廃業や空き店舗が増えていることから維持管理が難しい。

- (1) LED街路灯の補助金は、市から白岡市商店会連合会に対して、いくら支払われているのか。
- (2) LED街路灯の補助金を増額はできないのか。また、白岡市商店会連合会を脱退した店舗のLED街路灯の電気代を市が負担する考えはないか。
- (3) 白岡市商店会連合会は、空き店舗等から外したLED街路灯を現在も保管している。LED街路灯の利活用について、行政区などへの周知を市に求めるが、いかがか。
- (4) ゼロカーボンシティに取り組む市として、CO2削減のため重点支援地方交付金などを活用してはどうか。

## 2 高齢者の紙おむつ等給付事業の改善について

### (1) 高齢者の紙おむつ給付事業の概要について伺う。

支給要件や事業の周知方法、給付実績はどのようなになっているのか伺う。

### (2) 事業内容（支給方法）は市民ニーズに合っているのか。

ア 事業内容を改善してみてはいかがか。

イ 不要になった紙おむつについて、市への返還を支給の条件にしたり、回収業者に委託するなどして、廃棄される紙おむつがなくなるようにしてはどうか。

### (3) 紙おむつを資源と捉え、ロスを減らすために工夫できないか。

紙おむつのロスを減らし、また、利用者の負担を軽減するため、回収した紙おむつを必要なかたへ市が配布してはどうか。市だけでは難しいということであれば、事業者と協働して対応できないか。

## 第5 通告者

## 4 番 細 井 藤 夫 議員

### 1 平和を考える取組を

(1) 市内の戦争経験者が健在なうちに、戦時下の暮らしや、従軍経験などについて、協力いただける範囲での聞き取りを行うなど、風化させない取組をしてはどうか。

(2) 戦時下の記録や当時の物品などを、市民が見て考える機会をもつてはどうか。

### 2 大規模災害発生時の救援体制は

(1) 能登半島地震発生後、本市から石川県七尾市に対して行ってきた災害救援について、この一年の取組を伺う。

(2) 南海トラフ地震、首都直下地震などの発生リスクが高まっている。本市が被災地となった際の救援体制について伺う。

### 3 「モノを売る商店街」からの転換を

(1) 過去に実施した「プレミアム付商品券」の売上規模、参加店舗数の推移について伺う。

ア 大規模店と小規模店の利用比率

イ 「モノを売る店」と「サービスを売る店」の参加比率

- (2) 本市各地の商店街の衰退について、どのように捉えているか。
- (3) 令和５年７月に実施した「白岡市都市計画マスタープラン改定にかかる市民アンケート」が市民の直近の意識と考えるが、ここから本市の商業についてどのような課題があると思うか。
- (4) 篠津地域に整備が進む「イチゴノオカプロジェクト」が最終的に完成した際には、本市には約３０万人の交流人口が見込まれる。市外から来られる方が商業に求めるものは何か。
- (5) 令和１３年度の完成を見込む、白岡駅西口線の開通後、市内の商業に与える影響をどう考えるか。
- (6) 本市では「モノを売る店」ではなく「サービスを売る店」の需要が大きいと考える。例えば、起業セミナーを「飲食店開業のための起業セミナー」として開催するなど、「サービスを売る店」を増やすための施策をとるべきだと思うがいかか。
- (7) これからの市内商業の在り方をどう考えるか。

## 第６通告者

１２番 中山 廣 子 議員

### １ 高齢者の健康を支える取組について

#### (1) 带状疱疹ワクチンの定期接種化について

ア 対象者や周知方法を伺う。

イ 自己負担割合はどうか伺う。

ウ 対象とならない人への公費助成の考えを伺う。

#### (2) ＲＳウイルス感染症について

ア ＲＳウイルス感染症について認識しているか伺う。

イ 疾患周知・感染予防の注意喚起をするべきと思うがいかか。

### ２ 乳児等通園支援制度について

#### (1) 「乳児等通園支援制度」いわゆる「こども誰でも通園制度」の詳細と、従来の一時預かり保育との相違点を伺う。

#### (2) この制度の運用方法と周知方法を伺う。

1 認知症の取組について

- (1) 認知症の早期発見・早期対応が重要である。他市で行っている「脳とからだの健康チェック」などの、認知機能の判定などができる対面式アプリケーションを導入してはいかがか。
- (2) 個人で気軽にできる「認知症簡易チェックサイト」がある。導入してはいかがか。
- (3) 地域包括支援センターなどが行っている「オレンジ保健室」や「オレンジカフェ」の参加人数や開催状況は。周知の工夫次第で、この場を必要している人がもっと参加できるのではないか。
- (4) 認知症サポーターの活躍の機会を更に作っていけないか。また、児童生徒へのサポーター講座はどのように実施しているか。
- (5) 「認知症ケアパス」のケアパスは、言葉としての馴染みが薄い。ガイドなどのような、言葉に変更してはどうか。
- (6) たとえ認知症になっても、地域で社会参加や活動ができる白岡市を構築するためには「認知症施策推進基本計画」の策定が必要ではないか。

2 トイレの改善について

- (1) 都市公園のトイレについて
  - ア 清掃はどのように行っているか。
  - イ 快適に使用できるようにするために、荷物用のフック・幼児用補助便座・ベビーチェアの整備が必要ではないか。
  - ウ トイレの外見も重要である。リニューアルなど、地域の人や児童生徒と作業をしてはいかがか。
- (2) 小中学校のトイレについて
  - ア トイレ表示の中には「便所」がある。「トイレ」に変更してはどうか。
  - イ 女子トイレの生理用品の設置状況などを伺う。

3 障がい者の日常生活用具給付・貸与について

- (1) 障がい者日常生活用具給付・貸与の周知方法と、利用状況を伺う。

- (2) 品目にはサービスが終了するものもある。品目の見直しや変更などは、どうしているか。
- (3) 県からの事務連絡にもあった品目（地上デジタル放送対応ラジオ・音声 I C タグレコーダー・電気式たん吸引器外部バッテリー）や、以前に一般質問した品目（暗所視支援眼鏡・発動発電機人工呼吸器外部バッテリー）について、拡大できないか。

## 第 8 通告者

9 番 齋 藤 信 治 議員

教育支援センターをフリースクールに

教育支援センター（以後、センターという）は、不登校児童生徒を受け入れる施設として設立したはずだが、実際には、少数のこどもが利用する受験のための施設、まさに学習塾と化している。これでいいのか。

- (1) 実態をどう認識しているか。

ア 教育委員会としては、どう認識しているか。

イ 他市町のセンターも同じか。

ウ 先進自治体の例などは、研究しているか。

- (2) 現在の施設は小さすぎないか。

市内にいる不登校児童生徒は、60人ほどと思うが、センターを利用しているこどもは10人ほどである。許容人数は、20人程度が限度ではないか、全利用希望者を受け入れられないのではないか。

- (3) 利用者の実態

不登校児童生徒約60人のうち約10人しか利用していない。他の約50人は利用したくないのか。このこどもたちの居場所にはなれないのか。今の利用者数を適正と考えているのか。

- (4) フリースクール（こどもの居場所）にできないか。

自主学習ができるこどものためのセンターでいいのか。苦しんでいるこどもが、だれでもいられる場所としてのフリースクールにしないか。

- (5) イエナプラン教育はどうか。

60人がいられる場所として大山小の跡地をフリースクールにする

のはいかがか。または、まったく校風の違う学校として、イエナプラン教育を実施してみないか。困難だが、チャレンジに値する仕組みではないかと思うが、いかがか。

## 第9 通告者

11番 松本栄一 議員

### 1 信号機の管理と市民の安全対策について

警察庁によると、全国の信号機の数 は 2024 年 3 月末時点で約 21 万基あり、都道府県別では東京都の 16,030 基が最多、鳥取県の 1,303 基が最少で、約 4 分の 1 は耐用年数を経過し老朽化が進んでいる。約 4,300 基を撤去する計画だが、地元住民との合意が課題であるとしている。

- (1) 市内に設置されている信号機は、県道及び市道別に何基あるか。  
その中で、押しボタン式は何基あるか。また、管理方法を伺う。
- (2) 市内の信号機で、老朽化や他の理由で撤去される計画があるか。
- (3) 危険な交差点や横断歩道だけの場所に、信号機設置の要望件数は。
- (4) 危険な交差点や横断歩道だけの場所に信号機を設置できない、また、撤去された場合に、市民の安全を確保するための対策を伺う。

### 2 自転車利用者の安全対策について

改正道路交通法が令和 6 年 11 月 1 日に施行され、自転車の運転中にスマートフォンを使用する「ながら運転」や酒気帯び運転をすると、罰則が科せられる。

- (1) 市内の自転車利用者の交通事故件数（令和 4、5、6 年度）を伺う。
- (2) 改正道路交通法の施行後は罰則があるが、市民にどのように周知をしているか。
- (3) 自転車利用者のヘルメット着用が、令和 5 年 4 月から努力義務化されたが、購入費の補助を実施できないか。



第 10 通告者

10 番 加 藤 一 生 議員

1 市内のスクールゾーンの設置状況は

- (1) 現在、市内のスクールゾーンの設置状況はどうなっているか。
- (2) 南小の地域等に、今後追加する等の動きはあるのか。

2 市職員の人材確保について

現在、「公務員離れ」の傾向が顕在化している。

このような状況下で、市はどう人材を確保しようとしているのか。  
大学生等に対する、インターンシップの募集を行う考えはあるか。

第 11 通告者

7 番 野々口 眞由美 議員

1 これからの当市の農業政策について

- (1) 農政課、農業委員会、白岡市農業振興審議会のそれぞれの役割は。
- (2) 農業経営基盤強化促進法における地域計画について

ア どのような体制、スケジュールで地域計画が策定されたのか。

イ 地域住民との意見交換はいつ、行われたのか。また、どのような意見が出されたのか。

ウ 今後、地域計画の見直しなどは、どのような体制で進めるのか。

エ 今後の当市の農業政策は何に重点を置くのか。

2 新白岡スーパーシティプロジェクトについて

- (1) 新白岡スーパーシティプロジェクトとはなにか。
- (2) コンパクト事業について

ア 委託事業者である街活性室、エリアマネジメント団体、一般社団法人まちカケル想い。それぞれの役割と関係性は。

イ 新白岡駅東口交番北側広場の管理や運営を行うのはどこか。

ウ 新白岡駅東口自転車駐車場跡地の施設活用は。

- (3) スマート事業について

ア のりあい交通の充実と強化とはなにか。新白岡だけに特化したことはなにか。

イ 高齢者を対象とした I C T を活用した見守りサービス事業の内容・対象・年齢・人数・範囲は。

- (4) レジリエント事業について。自主防災組織育成事業とは。
- (5) 目標達成値決定までのプロセスは。さらに全ての事業が対象になっていないのはなぜか。

第 1 2 通告者

1 番 寺 戸 睦 子 議員

- 1 新白岡駅からイチゴノオカに続く歩道及び沿道の土地利用について  
5年後の2030年に開業予定の「イチゴノオカ」に続く新白岡駅からの歩道及び沿道の土地について伺う。
  - (1) 「イチゴノオカ」開業後、新白岡駅からイチゴノオカまで、市が想定している徒歩ルートを伺う。
  - (2) ベビーカーを使用する方や、近郊から来る方も見据えて、今後整備すべきかと思うが、見解を伺う。
  - (3) 徒歩ルートの説明は、近隣住民にいつ頃から始めるのか。また、植栽の整備についても見解を伺う。
  - (4) 年間約100万人の来場予想を考えると、賑わい創出（出店等）のための土地利用を検討すべきかと思うが、いかがか。
- 2 シティプロモーション及びシビックプライドについて
  - (1) 当市の「シティプロモーション」について、ブランド農産物の認知向上、少子化対策、移住・定住の促進、賑わい創出など、どこをターゲットとし、どんな成果を目指しているのか、具体的なブランディングプランを伺う。
  - (2) 当市の今後のシビックプライドを、どのように醸成するのか。定住率の向上、地域サービスの質の向上、犯罪率抑制対応等、具体的な考えを伺う。  
また、今後、シビックプライドを高めるため、市民に対して直接アプローチする予定があるのか伺う。

第 1 3 通告者

1 6 番 黒 須 大 一 郎 議員

- 1 まちの賑わい創出を考えるⅡ
  - (1) 白岡駅東西口駅前広場と接続する都市計画道路白岡駅西口線、白

岡宮代線の整備スケジュールはどのようになっているのか。

- (2) 白岡駅東西口駅前広場は、利用者が滞留する構造（仕掛け）になっているか。それは、利便性や多面性はあるのか。
- (3) 賑わいを育む空間は、ハードの整備だけでは育たない。多種多様な関係者と目指すビジョンとそのための具体的な方策とイメージを共有して進めることが重要である。今後、それをするために駅まち空間での実証実験等のプロジェクトを進めないか。

## 2 市立学校将来ビジョンの決定に向けて

- (1) 白岡市立学校の将来ビジョンは、令和の日本型学校教育として、国の中央教育審議会から出された方向性と一にするものになるのか。
- (2) 市立学校適正規模・適正配置等計画策定事業の成否は、市立学校の将来（学校／教育）ビジョンにかかっている。市立学校将来ビジョンを策定するに当たって、現場の教職員との意見交換等を行うのか。さらに、今後、現場の教職員と市立学校将来ビジョンを共有し、理解を得て取組を進めていく必要がある。具体的にどのように進めていくのか。
- (3) 市立学校の将来ビジョン策定に当たっての県教育委員会との連携は必要と考える。小・中学校の教職員は県教育委員会が人事を行っており、市立学校将来ビジョンを理解した教職員が人事異動によりほかの自治体に配置されてしまうということもあり得る。今回の市立学校将来ビジョンについては、県教育委員会から理解を得られ、教職員の人事についても協力が得られるものになるか。

## 3 公民館にエレベーターを、市交流センター整備計画を

- (1) 利用者の多くは高齢者で、利用のためにエレベーターの設置を望んでいる。整備の予定は。
- (2) 同様に施設の老朽化が進んでいる老人福祉センターと再利用の予定がない大山小学校とを合わせて汎用性の高い市交流センター整備計画を検討し、進めてはいかがか。

第 1 4 通告者

5 番 浜 口 清 志 議員

水道事業経営戦略（令和 2 年度～ 1 1 年度）の令和 7 年度改定（案）について

- (1) 令和 8 年度から料金改定が予定されているが、なぜか。
- (2) 県水が値上げになった理由は。
- (3) そもそも水道事業とは何か（憲法第 2 5 条、水道法第 1 条）。

第 1 5 通告者

1 7 番 江 原 浩 之 議員

1 公共下水道の維持管理について

- (1) 市の公共下水道管渠の整備状況は。
- (2) 下水道管渠の維持管理はどのように実施しているのか。
- (3) 下水道管渠の緊急点検の詳細は。

2 農地法改正による影響と今後の支援策について

- (1) 農地法第 3 条の面積要件が廃止されたことによる該当件数と新規参入者の件数は。
- (2) 面積要件が廃止されたことをどのように捉えているのか。新規参入者に支援策はあるのか。また、市独自で支援策を考えられないか。

第 1 6 通告者

3 番 嶋 田 友一郎 議員

1 自転車利用促進について

- (1) 本市における自転車利用促進の取組状況と計画の策定について  
ア 自転車利用促進についての施策と取組状況について伺う。  
イ 自転車活用推進計画の策定を進めてはどうか。
- (2) 観光振興・安全な移動と通学路の確保に向けたサイクリングロードの整備について伺う。

2 柴山沼の親水公園化による観光・交流拠点の創出について

- (1) 本市における観光振興の取組について伺う。
- (2) 柴山沼におけるウォーターアクティビティの推進について  
ア 柴山沼におけるカヌーやボートなどの利用について伺う。  
イ 柴山沼におけるウォーターアクティビティの推進について伺う。

- (3) 柴山沼の親水公園化による観光・交流拠点の創出について市長に伺う。

第 17 通告者

15 番 中 川 幸 廣 議員

1 水田活用の直接交付金の見直しについて

水田活用の直接交付金が見直されるとのことだが内容に関して以下を伺う。

- (1) 水田活用の直接交付金とはどのような内容なのか。
- (2) 白岡市内での水田耕作者に対する影響は。
- (3) コメ農家の平均労働時間で割った時給は「10円」と言われているが、このような実態を市としてどのように捉え、コメ農家の方々をどのように指導するのか。

2 西6丁目のTOP横の県警家族寮の施設について

西6丁目のTOP横の県警家族寮には入居者が見当たらない。防犯上も決して看過できるものではないので以下を伺う。

- (1) 利用状況はどのようなものか。
- (2) もし埼玉県が利用しないものなら廉価で市に払い下げができないのか。

3 路線バスの運休による影響、そして、路線バス会社への支援について

先の市長よりの行政報告でも、「丸建つばさ交通が市内での運行を一時休止する」との報告があった。同僚議員とともにバスの運行開始に努めたが大変残念な結果になった。利用者も当初予定より少ないことも一時休止に拍車をかけたが、何より市からの支援は何も無かった。市として、市民の足の確保をどのように考えているのか以下を伺う。

- (1) 国よりの補助金の説明会でも次年度4月1日以降も運行していない業者には支払わないとのコメントであった。市民の足の確保のため努力したのに何故に支払い対象としないのか。
- (2) のりあい交通の事業者には、年間数千万円を支出しながら、他のタクシーやバス会社には何ら配慮しようとししない。その判断の

「源」は何なのか。

- (3) 丸建つばさ交通によると、乗車料金を「30円」アップし、「230円」として、再度市内で運行したいと考えているようだが市としてはどのように考えるか。